

○ **全世代型社会保障の構築**に向けて、まずは、「**人への投資**」の観点から、以下の論点について議論を進めていただきたいと考えるが、どうか。

### ➤ **男女が希望どおり働ける社会づくり・子育て支援**

- **我が国の子ども支援制度**は、育児休業、保育、児童手当など各種制度によって成り立っているが、全体を通じて**目指すべき基本方向は何か**。
- 「**新子育て安心プラン**」等によって**保育や放課後児童クラブの整備**等を着実に実施することが示されているが、**子育て支援**について強化すべき点はないか。また、**就労復帰を希望する時に保育をより確実に利用できる**ようにするために改善すべき点はないか。
- **育児休業制度**について改善すべき点はあるか。また、育児休業制度を利用できない方がいることや男性育休の利用促進に向けてどう考えるか。
- 幼児期に**時短勤務**を選択するなど、**仕事と子育ての両立**を図りやすくするために改善すべき点はないか。
- **様々な事情を抱えたこども・家庭に対する支援**に対してどのように支援を強化していくべきか。

### ➤ **勤労者皆保険の実現**

- 勤労者皆保険の実現に向けて、**令和2年年金制度改正法に基づき厚生年金・健康保険の適用拡大を着実に進める**とともに、適用拡大を更に前に進めるため、**対象範囲を規定する各要件等**についてどう考えるか。
- **さらなる勤労者皆保険の実現に向けた方策と論点**についてどう考えるか。
- 長期的な課題として、**フリーランスやギグワーカーへの社会保険の適用**についてどう考えるか。

### ➤ **女性の就労の制約となっている制度の見直し**

- 106万円の壁、130万円の壁など、**既婚女性の働くインセンティブを阻害する仕組み（社会保険や企業慣行等）の問題**などについてどう考えるか。

## 当面の論点②

### ➤ 家庭における介護の負担軽減

- 今後の介護サービスの確保や老後も住み慣れた地域で暮らしていける体制づくりについてどう取り組むべきか。特に、今後の介護ニーズが急増する首都圏や大都市について、どのような対応を考えるべきか。
- 介護休業制度等の介護離職を防ぐための制度について、利用率等を踏まえて、今後の在り方をどう考えるか。
- 認知症を抱える方の家族の様々な不安や悩みに対する支援の在り方についてどう考えるか。  
ヤングケアラー（本来大人が担う家族の世話や家事を日常的に行っている子ども）にはどのような対応を考えるべきか。

### ➤ 地域共生社会づくりについて

- 孤独・孤立に苦しむ方について、どのような対策を講ずべきか。
- 今後、増加が見込まれる独居の困窮者・高齢者が、地域の中で安心した生活を送るための「すまい」についてどう考えるか。

### ➤ 医療・介護・福祉サービスについて

- サービス人材の確保・育成に向けて、デジタル技術の活用や高齢・地域人材の活用、人材育成の在り方等についてどう考えるか。
- 医療・介護提供体制改革など社会保障制度基盤の強化に向けて、これまでの骨太の方針や改革工程表を踏まえて取組を進めていくべきではないか。

## (参考) 施政方針演説等

### 岸田内閣総理大臣施政方針演説（令和4年1月17日）（抄）

**成長と分配の好循環による持続可能な経済を実現する要となるのが、分配戦略**です。

その第一は、所得の向上につながる「賃上げ」です。（略）

第二に、「人への投資」の抜本強化です。（略）

第三に、未来を担う次世代の「中間層の維持」です。（略）

全世代型社会保障構築会議において、**男女が希望通り働ける社会づくり**や、**若者世代の負担増の抑制、勤労者皆保険**など、**社会保障制度を支える人を増やし、能力に応じてみんなが支え合う、持続的な社会保障制度の構築**に向け、議論を進めます。（略）

### 岸田内閣総理大臣所信表明演説（令和3年12月6日）（抄）

全世代型社会保障構築会議を中心に、**女性の就労の制約となっている制度の見直し、勤労者皆保険の実現、子育て支援、家庭介護の負担軽減、若者・子育て世帯の負担増を抑制するための改革**、さらには、こども中心の行政を確立するための新たな行政組織の設置に取り組んでいきます。